

農業の特質

1. 農業の技術的特質
2. 農業の商品的特質
3. 農業の主体的特質

モノ自体を伴って、そのまわりの

生命現象 ex. タイヤ

自然の影響を受ける

工業 → 工程を分離する (科学的に)

昔 → 一箇所に集まり、人間の手を使、モノを分離する

⇒ 家内制手工業

⇒ 共業が一般的

農業
・ 工程を分離するとながらぎない
・ 時間を短縮するとながらぎない
・ すぐもの (規格外のもの)

自然の影響

2. つぶれやすい、くずれやすい、こぼれやすい
保存するに難しい

消費者にとどくまでの時間が非常に短い

3. 家族経営

ex. 果樹 → できるときに 2~3年以上かかる (ワイン)

赤ワイン 2年 白ワイン 1年

資源の投入もできるとき

問題の所在.

我々の周りには様々は農業由来の食品素材が存在するが、
これらの素材は、社会的にどのように生産されるのか？
その時、地域や農地とはどのように関係しているのか？
また、どのような主体が中心を担い、関係しているのか？
各主体の経済、経営的特質や主体間の関係はどうか？
各主体や関連産業の会計問題もどう考えるか？

考察対象・範囲の限定.

主に耕種農業を対象とし、考察を絞る。
基本的には、わが国を考察範囲とする

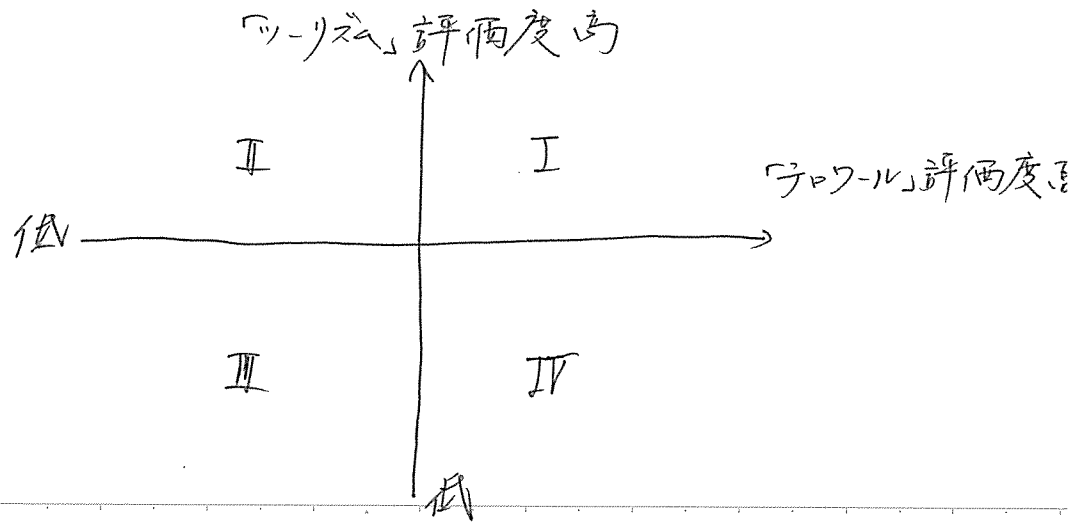
※ 小規模 弊
大規模 借
水増し 能

都市近郊、中山間、山間

「ツーリズム・テロワール」の概要
一品格ある地域ブランドの源泉ヒート

テロワール (Terroir) とは、
特定、地域や土地に固有、潜在的生産力を規定する
自然的、物理的条件。
フエノエ特

ツーリズム (Tourisme) とは、
地域の文化、風土等、地域資源やその探索活動



→ ブドウのつぼ

産業クラスターとは

「特定分野における関連企業、専門性、高い供給業者、サービス提供者、関連業界に属する企業、関連

目指すべき方向

ミクロ・サイド：個別農家や個別生産経営の維持・発展

マクロ・サイド：地域資源（特に農地）の維持・保全

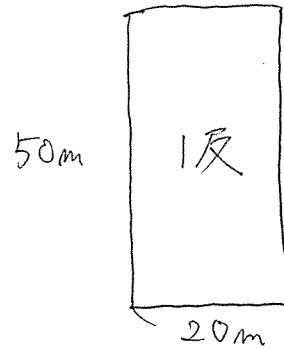
考察すべき課題

産業クラスターがどのような役割・機能を

75% 以上、
食用グレード、
濃縮還元。

梅、アモド、桜、
、瀬之花は咲く、

反 → 10反。
町 → 1反。



地目、
水田
畑地 (北海道)
輪作。

和歌山
梅、アモド

澱粉、砂糖 ... 重。工場は近くに
あり、原材料の影響は受けにくい

お茶 ⇒ 一反加工。(煎茶) まさ農家が作り、
宇治茶 奈良のツキガセ (月ヶ瀬) まさ範囲
→ 日本中から煎茶がブレンドされて作られている

大豆 → 欧米では人間が食べるよりも、~~家畜が食べるもの~~
家畜が食べるもの

ミカン → 香料が入っているのをフレッシュな感じに飲める。

カット野菜 ⇒ おまん。